



日本PACS研究会

平成19年度定期総会

日時: 2007年5月28日(月) 16:30~17:30

会場: (財)医療情報システム開発センター

(MEDIS-DC) 会議室



日本PACS研究会 平成19年度定期総会

日 時:2007年5月28日(月) 16:30~17:30

会 場:(財)医療情報システム開発センター(MEDIS-DC) 会議室

出席予定者:会長、名誉顧問、顧問、幹事、監事、JPACS会員、ePHDS委員、事務局

招待講演 16:30~17:00

「ITを活用した医療分野の情報化戦略(IT新改革戦略の最新動向)」

内閣官房情報通信技術(IT)担当室参与 西原 栄太郎 先生

総 会 17:00~17:30

1. 開会の挨拶
2. 議長選出
3. 議 事
 - 1) 平成18年度活動報告・平成19年度活動計画
 - ① 全体の活動について
 - ② 医用画像電子化研究会
 - ③ ePHDS委員会
 - 2) 平成18年度決算報告(案)
 - 3) 平成19年度予算(案)
 - 4) その他
4. 閉会の挨拶

懇 親 会(無料) 17:30~ 於:MEDIS-DC 会議室



日本PACS研究会
平成19年度定期総会

招待講演

ITを活用した医療分野の情報化戦略
(IT新改革戦略の最新動向)

内閣官房情報通信技術(IT)担当室参与

西原 栄太郎 先生



日本PACS研究会 平成19年度定期総会

総 会 17:00~17:30

総会式次第

1. 開会の挨拶
2. 議長選出
3. 議 事
 - 1) 平成18年度活動報告・平成19年度活動計画
 - ① 全体の活動について
 - ② 医用画像電子化研究会
 - ③ ePHDS委員会
 - 2) 平成18年度決算報告(案)
 - 3) 平成19年度予算(案)
 - 4) その他
4. 閉会の挨拶

懇 親 会(無料) 17:30~ 於: MEDIS-DC 会議室



日本PACS研究会 平成19年度定期総会

総 会 17:00~17:30

総会式次第

1. 開会の挨拶
2. 議長選出
3. 議 事
 - 1) 平成18年度活動報告・平成19年度活動計画
 - ① 全体の活動について
 - ② 医用画像電子化研究会
 - ③ ePHDS委員会
 - 2) 平成18年度決算報告(案)
 - 3) 平成19年度予算(案)
 - 4) その他
4. 閉会の挨拶

懇 親 会(無料) 17:30~ 於: MEDIS-DC 会議室



平成18年度 全体の活動報告(案)

1. 会員の推移

- 1) 平成18年5月 会員数25社
- 2) 平成18年度退会 3社 フリップスエレクトロニクスジャパン、GE横河メディカル、AJS
- 3) 平成18年度より新入会 2社 グッドマンヘルスケアITソリューション、セコム
- 4) 平成19年度より新入会 1社 テラリコン
- 5) 平成19年度 会員数25社(5月現在)

2. 定期総会 1回 拡大幹事会 7回

3. ePHDS委員会への支援活動

IS&C委員会より改名されたePHDS委員会の活動を継続した。(MEDIS-DCに事務局を委託)

4. 医療情報標準化推進協議会(HELICS協議会)・・・正会員として活動

「患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書第一版」の採択がされた。

5. 保健福祉医療情報セキュアネットワーク普及促進コンソーシアム(HEASNET)・・・賛助会員として活動

- 1) 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」の実装事例に関する報告書(2007年3月発行)の作成に協力
- 2) オンデマンドVPN(HEASNET版)技術仕様書(基本編 Ver. 1.0/2007年2月発行)の作成に協力

6. NEWS LETTER 発行無し

7. 勉強会の開催(共催含む) 5回

- 1) 医用画像電子化研究会 3回(下記の医用画像電子化研究会活動報告参照)
- 2) JPACSとePHDS合同勉強会 2回 東京・医科機器会館 11月14日/3月9日

8. ホームページの更新。



平成19年度 全体の活動計画(案)

1. 事業の拡大を図り、平成19年度も会員の増加を図る。
2. 定期総会の開催(5月28日)
3. 幹事会及び拡大幹事会の開催(適時)
4. ePHDS委員会の活動の継続
5. 医療情報標準化推進協議会(HELICS協議会)の正会員としての活動の継続
6. 保健福祉医療情報セキュアネットワーク普及促進コンソーシアム(HEASNET)の賛助会員としての活動の継続
7. 「会員のための勉強会」開催
勉強会(2回予定)および医用画像電子化研究会等の
企画・主催／共催(医用画像電子化研究会の資料参照)
8. ホームページの充実
9. その他



平成18年度医用画像電子化研究会活動報告(案)

医用画像電子化研究会 3回

1. 医用画像認知研究会、遠隔画像診断部会(JRS)、画像診断報告書研究会(JRS)、IHEワークショップと合同1回
8月5日・6日 慶應義塾大学医学部講堂
2. IHE-Jと共催でのIHEワークショップ 3回(内、1回上記の1)と重複)
5月13日 東北大学医学部講堂 / 2月10日 キャンパスプラザ京都

平成19年度医用画像電子化研究会活動計画(案)

医用画像電子化研究会 4回(予定)

1. 医用画像認知研究会、遠隔画像診断部会(JRS)、画像診断報告書研究会(JRS)、IHEワークショップと合同1回
8月11日・12日 滋賀医科大学
2. 日本IHE協会と共催でのIHEワークショップ 3回
(内、1回上記1. と重複)
5月12日 高松(終了) / 11月 広島(予定) / 12 or 12月 新潟(予定)



「個人健康情報連携システム 委員会」: ePHDS委員会
“enhanced Personal Health Document Sharing system committee”:
ePHDS committee

1. 目的

医療機関間の個人健康情報の統合の標準化に関わる問題を検討する。施設を越えた医療情報の連携、すなわち人の一生にわたる医療情報の共有のあり方を明らかにする。そのための情報共有基盤やセキュリティ基盤の確保、電子保存、心電波形の取り扱い、などのテーマを扱う。IHEのモデルなどを参照しつつ、わが国における医療連携の望ましい姿を探る。また従来からのIS&C活動の特長である、標準に関わる技術問題の解決をめざす姿勢や、ベンダ単独ではできないテーマへの取り組み、行政への働きかけ、セキュリティ基盤に関わる運用と技術の整合性の検討を行う。また工業会では扱っていないテーマや工業会横断的なテーマの掘り起こしを行う。活動に当たっては、様々な分野のベンダや、有識者の協力を得て、引き続き継続して行っていくものとする。結果については、報告会〔勉強会〕などを通じて公表していく。



「個人健康情報連携システム 委員会」: ePHDS委員会
“enhanced Personal Health Document Sharing system
committee”: ePHDS committee

2. 体制

1) 標準化ワーキンググループ

WG1 個人健康情報連携システムの検討

WG2 セキュリティインフラの標準化検討

WG2-1 多機能ICチップによるセキュアインフラの検討

WG3 医療情報の安全な保管システム

WG3-1 セキュアDB

WG4 コンテンツの標準化

WG4-1 心電、脳波などの波形の標準化

2) スタディグループ

SG1 医療分野の情報化の現状調査

SG2 最新医療情報分野の勉強会

3) 幹事会

ePHDS委員会の方向性の検討を行う。各WGの活動支援、工業会ほか、IHE-Jなどの標準推進団体との連携を進める。年間10回程度開催する。

平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

1. ePHDS委員会 WG1、WG2

1-1. 平成18年度 活動報告

WG1 個人健康情報連携システムの検討

(主査:安藤裕(放射線医学総合研究所、喜多紘一(東京工業大学))

WG2-1 多機能ICチップによるセキュアインフラの検討

(主査:細羽実(京都医療技術短期大学))

IHE—J臨床企画委員会 ITI-WGとの合同で、医療施設間情報共有の仕組みであるIHE-XDSについての検討を行ってきた。主たるテーマは、1)XDS及び関連する統合プロフィールの日本での適用に当たっての検討、2)レジストリ、リポジトリモデル、4)セキュリティ面の検討、5)テスト実装、6)放医研プロジェクトとの連携などであった。活動経緯は、以下に列挙した。

結果として、IHEによる医療情報共有については、XDS,XDS-Iをはじめ、関連する統合プロフィールの適用、セキュリティ関連プロフィールの適用が可能であり、放医研での粒子線治療連携や遠隔画像連携などへの適用が可能であることが明らかとなった。

平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

ePHDS委員会 WG1、WG2 活動経緯

2006年5月25日(水)

今年度活動計画の検討

IHE XDS統合プロファイルの臨床への適合性, サンプル導入の検討, (最小セットを構築、オープンソース化検討), セキュリティの検討

2006年6月19日(月)

放医研のプロジェクトについて(放医研・安藤氏)/IHE XDS 実装サブWG募集について

2006年7月31日(月)

XDS-IIについての確認 (京都医療技術短大 細羽氏)/施設間情報連携のUse Case-重粒子治療-(放医研 安藤氏)

2006年8月31日(木)

健診読影デジタル化とXDSの活用(MPO 森口氏)/個人健康情報参照システム(東工大 喜多氏)/XDS-NAV解説(セコム 村山氏)
名古屋地区を中心とした遠隔読影サービス/システムの構築(東芝 長田氏)

2006年9月27日(水)

粒子線治療施設間情報連携プロジェクトについて(放医研 向井氏)/XDSメタデータ概要(元JIRA 大林氏)

2006年10月25日(水)

BPPC(Basic Patient Privacy Consents)について(日立 岡峯氏)/XDS-Iメタデータ概要(元JIRA 大林氏)

2006年12月13日(水)

RSNA2006報告(京都医技短大 細羽氏)/XDS LABの状況(オリンパス 長谷川氏)

2007年1月15日(月)

XDRについて(ユーフィット 小柳津氏)/放医研で検討したメタデータについて(放医研 安藤氏・管理工学研 大林氏)

2007年2月20日(月)

XDS-LABOについて(オリンパス 長谷川氏)/XDMについて(放医研 向井氏)/WADO運用報告(埼玉医大 松田氏)

2007年3月20日(月)

岡崎市民病院における検像 (岡崎市民病院・奥田氏)/埼玉医大川越病院における検像 (埼玉医大・松田氏)

平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

ePHDS委員会 SWG (XDS 実装検討サブワーキンググループ)

SWG (XDS 実装検討サブワーキンググループ)

(主査:細羽実(京都医療技術短期大学))

平成18年7月31日より開始し、9回のWGを開催、活動を行った。オープンソースのテストと実装上の問題点を検討したNIST(National Institute of Standard and Technology)より提供されているXDS-RRの評価試験を、同じくNISTより提供されているXDSテストクライアントを用いて行った。31項目の試験において、いずれも期待する結果が得られた。NISTより提供されているXDS-RRの評価試験を行った結果、本オープンソースを活用することにより、現行のXDSの機能を提供するサーバの構築が可能であることを確認できた。今回テストを行ったオープンソースXDS-RRは、ebXML2.1をベースにしているが、今後のXDSの機能拡張には、ebXML3.0をベースとしているものがある。ebXML3.0では、データ構造が一部変更されていることが判明している。したがって、現行のXDSへの対応は本オープンソースの活用で十分対応可能であるが、今後の機能拡張を考えた場合、本オープンソースの核となるebXMLのバージョンアップ及びそれに伴う変更を行わなければならないという問題がある。今後、ebXMLのバージョンアップについて、国際的な動向も踏まえながら更なる調査が必要である。

平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

1-2. 平成19年度活動計画

WG1 個人健康情報連携システムの検討

(主査:安藤裕(放射線医学総合研究所、喜多紘一(東京工業大学))

WG2 セキュリティインフラの標準化検討

(主査:細羽実(京都医療科学大学))

平成18年度に引き続き、IHE-XDSの検討を行う、検討課題としては、1)臨床面でのわが国の臨床現場への適用可能性、即ち地域連携のニーズとXDSの整合性、2)XDSレジストリ、リポジトリのサンプル導入、3)関連するIHE統合プロファイルの検討、4)セキュリティ面の検討、5)院内利用 などである。実証実験の開始や、各地での取り組みとの連携を行う。

放射線医学総合研究所では、3年間のプロジェクトとして粒子線治療の関連施設を結んで情報のやり取りを行うシステムの構築が開始されている。粒子線治療臨床研究会があり、放医研を中心として活動している。ePHDS WG1は、技術的な側面からの検討を継続する。検討範囲は、

粒子線治療施設を相互に結ぶ施設間情報連携

粒子線治療のための患者紹介や治療後の経過観察のための情報連携
の分野などである。

WG2は、WG1と合同で検討を進め、セキュリティ分野における問題点を抽出し解決策を検討する。

検討にあたっては、日本IHE協会 ITI企画委員会との連携を進める。



平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

SWG(XDS実装検討サブワーキンググループ)活動計画

(主査:細羽実(京都医療科学大学))

実装サブWGは、引き続き、オープンソースの利用を検討し、小規模コネクタソンの実施をめざして活動する。

WG2-1 多機能ICチップによるセキュアインフラの検討

(主査:細羽実(京都医療科学大学))

平成19年度は、WG2の活動に統合しておこなう。



平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

2. ePHDS委員会 WG3-1

2-1. 平成18年度の活動報告

WG3 医療情報の安全な保管システム

WG3-1 セキュアDBの検討

(主査:喜多紘一(東京工業大学))

作業量が膨大であり委員会の活動で実施するにあたって十分な体制が必要となるため、18年度は休会とした。

2-2. 平成19年度の活動計画

WG3-1 セキュアDBの検討

(主査:喜多紘一(東京工業大学))

当面、休会とする。



平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

3. ePHDS委員会 WG4-1

3-1. 平成18年度 活動報告

WG4 コンテンツの標準化

WG4-1 心電、脳波などの波形の標準化

(主査:平井正明(日本光電))

MFER委員会と調整しMFERのISO/TS11073-92001投票完。3/22 ISO/FDIS(50.00)としてISO/CSにてドキュメント発行準備中。NEDO支援にてツールソフトウェアを開発した。標準12誘導心電図規格日本語版完、ISO/TSとして8月末ISOブリスベン会議に提案要請がされた。ホルター心電図および負荷心電図ドラフト作成中。IHE-J CardにおいてMFERを標準としコネクタソンを行い、日本循環器学会において展示デモを行った。CDAでの報告書規格について検討を行い、日本語案を完成、同規格のISO化がISOモニターオール総会で決定された。脳波、スパイロメトリの規格化は原案を検討中。韓国、ノルウェーなどで実装が進んでいる。



平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

3-2. 平成19年度 活動計画

WG4-1 心電、脳波などの波形の標準化

(主査:平井正明(日本光電))

ISO/TS 11073-92001として発行予定。その後IS化に向け作業を行う。またCEN規格として採用する予定であるが、それらを確実にするためにフォローする。CDAによる生理検査報告書規格(11073-92205)、標準12誘導心電図(11073-92301)を提案、ISO化を推進する。またSCP-ECGからMFERの変換について11073-92306として提案するよう求められていて、英文規格を作成予定。負荷心電図、脳波およびスパイロメトリ規格原案の作成を行う。MFERのIHE National ExtensionからIHE標準プロフィールにするよう活動する。ホルター心電図は、レコーダ出力規格と電子カルテなどで利用できる規格と2部構成になっていて、レコーダ出力についてIHE-Jテクニカルフレームワークを完成しコネクタソンにつなげる。



平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

4. ePHDS委員会 SG-1

4-1. 平成18年度 活動報告

個人の健康・医療情報を一元化して、保管・管理する方法を、医療施設の見学を通じて共通の認識としてとらえる活動を行う。そのため、見学会を開催し、セキュリティーや個人情報保護などの面も含め、医療情報の保存する方法の認識を深める。今年度の医療機関は、以下の施設であった。

放射線医学総合研究所病院

2007年3月13日(火) 13:30 — 17:00

放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院でIHE SWF, PIR,EUA, PSAなどの見学を行った。

参加者数:19名(予約数 20人)

放医研病院は、IHEのSWF、PIR、LSWFなど複数の統合プロフィールを実装しており、さらにシングルサインオン(EUA)や患者選択の連動(PSA)などを実装しており、日本におけるIHE ITIの実装では、先進的な医療機関であった。概要説明、IHE ITI、DEMO、病院見学、質疑応答などが行われた。

4-2. 平成19年度 活動計画

SG1 医療分野の情報化の現状調査
(主査: 安藤裕(放射線医学総合研究所))

2007年度の見学会として以下の予定

- ・癌研附属病院有明病院
- ・聖路加病院

5. ePHDS委員会 SG2

5-1. 平成18年度 活動報告

SG2 最新医療情報分野の勉強会
(主査:岡峯成範(日立製作所))

健康医療分野における最近のトピックスを取り上げ、下記の2回の勉強会を開催した。

平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

(1)「施設間ヘルスケア連携のデータベースのあり方とセキュリティ」ー XDS、HPKI、オンデマンドVPNを含めて ー

- ・日 時：2006年11月14日(火) 13:20-17:20
- ・参加者：51名(会員40名、非会員11名)

1	(1) HPKIの概要と活用方法 (2) 公立富岡総合病院における実証実験の紹介	医療情報システム開発センター 町田 悦郎
2	周産期医療情報ネットワークによる医療機関相互連携	香川大学医学部附属病院 原 量宏
3	粒子線治療における医療情報連携モデルと課題	放射線医学総合研究所 安藤 裕
4	IHEによる施設間医療情報交換の課題と解決策	京都医療技術短期大学 細羽 実
5	個人健康管理システムとオンデマンドVPNによるセキュリティ確保	東京工業大学 喜多 紘一

平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

(2)「JPACS、ePHDS勉強会 (第33回JPACS会員のための勉強会)」

- ・日 時: 2007年3月9日(金) 13:10-17:00
- ・参加者: 35名(会員29名、非会員6名)

1	臨床医が必要とする地域連携に向けて	アリゾナ大学／ひがしやま病院 岡崎 宣夫
2	岡崎市民病院での院内IHEとりまとめ経験	岡崎市民病院 奥田 保男
3	最近の医療ソフトウェア品質基準の考え方紹介 ～IEC62304を中心に～	JIRAソフトウェア委員会 飯島 直人
4	IHE XDSの検討状況(WG1、WG2-1)	京都医療技術短期大学 細羽 実
5	IHE XDSオープンソースの概要とテスト経験 (SWG1-1)	管理工学研究所 高橋 正人
6	波形データ規格MFERの検討状況(WG4-1)	日本光電工業 松元 恒一郎



平成18年度 活動報告/平成19年度 活動計画 (案)

5-2. 平成19年度 活動計画

SG2 最新医療情報分野の勉強会 (主査:岡峯成範(日立製作所))

健康医療分野に活用できるITインフラやセキュリティの技術や動向に関して、タイムリーなトピックスを選定し勉強会を開催する。10月と1月の2回開催を目標に計画を立てる。また参加者を増やすため、WG登録者全員に案内配布を行うなどの工夫を行う。



平成18年度 決算報告書(案)

I 収入の部 合計 ¥4,751,315 .-

1.	平成18年度分年会費	2,000,000	入金済25社分
2.	平成18年度分年会費未収金	240,000	未収金3件分
3.	勉強会参加費	296,000	2回分
4.	ePHDS臨時事業収入	29,475	IS&Cシール
5.	銀行利息	1,685	

当期収入計 2,567,160 -A

前年度繰越金 2,184,155

平成18年度 決算報告書(案)

Ⅱ 支出の部 合計		¥4,751,315 .-	
1.	ePHDS委員会運営費	992,680	
	1)会議費	589,000	JPACS幹事会の使用時は含まず
	2)旅費・交通費	403,680	
2.	事業費	869,750	
	1)勉強会関係経費(5回)	819,750	
	2)NEWS LETTER(0回)	0	
	3)HELICS年会費	50,000	
3.	会議関係費	242,131	
	1)総会関係	87,131	MEDIS会議室料含む
	2)幹事会(7回)・他会議費	155,000	MEDIS会議室料含む
4.	事務諸経費	129,780	
	1)制作物関係費	46,410	封筒(2種)、IS&Cシール
	2)ホームページ(ドメイン含む)	83,370	
5.	通信費(郵便・宅配等)	23,290	
6.	雑費	4,580	
	1)慶弔関係費	0	
	2)入金・送金手数料	4,580	
7.	事務局代行費	630,000	
	当期支出計	2,892,211	-B
	翌年度繰越金	1,859,104	

註:当期収支差額(A-B)

▲ 325,051

平成18年度 予算 / 決算 対比表

項 目	予 算	決 算	差 異	備 考
収入の部				
1. 前年度繰越金	2,184,155	2,184,155	0	
2. 平成18年度年会費	2,400,000	2,000,000	△400,000	25社分入金済み
3. 平成18年度年会費未収金	0	240,000	240,000	3件未収分
4. 勉強会参加費	300,000	296,000	△4,000	
5. ePHDS臨時事業収入	0	29,475	29,475	シール代
6. 銀行利息(JPACS/IS&C)	0	1,685	1,685	
合 計	4,884,155	4,751,315	△132,840	
支出の部				
1. ePHDS委員会運営費	700,000	992,680	292,680	
1) 会議費	450,000	589,000		
2) 旅費交通費	250,000	403,680		
2. 事業関係費	750,000	869,750	119,750	勉強会等(5回)、HELICS会費
3. 会議関係費	200,000	242,131	42,131	総会、拡大幹事会他
4. 事務諸経費	200,000	129,780	△70,220	ホームページ、封筒、シール
5. 通信費	100,000	23,290	△76,710	
6. 雑費	20,000	4,580	△15,420	銀行手数料
7. 事務局代行費	630,000	630,000	0	
8. 予備費	2,284,155	0	△2,284,155	
9. 翌年度繰越金	0	1,859,104	1,859,104	
合 計	4,884,155	4,751,315	△132,840	

日本 PACS 研究会 殿

日本 PACS 研究会の平成 18 度の決算報告書(案)を監査の結果、内容に相違ないことをここに承認致します。

2007年5月24日 監事 細羽 実



2007年5月24日 監事 菅野 好史



平成19年度 予算書 (案)

■収入の部 合計 ￥4,059,104 -

1. 前年度繰越金	1,859,104	
2. 平成19年度年会費	2,000,000	25社分
3. 勉強会参加費	200,000	

■支出の部 合計 ￥4,059,104 -

1. ePHDS委員会運営費	700,000	
1) 会議費	450,000	
2) 旅費交通費	250,000	
2. 事業費	750,000	
1) HELICS正会員年会費	50,000	
2) その他	700,000	勉強会補助金等
3. 会議関係費	250,000	
1) 総会関係	100,000	
2) 幹事会関係他	150,000	
4. 事務諸経費	150,000	ホームページ、制作物関係費等
5. 通信費	50,000	
6. 雑費	20,000	慶弔金、銀行手数料他
7. 事務局代行費	630,000	
8. 予備費	1,509,104	